

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 頭蓋内電極留置術後の発作誘発刺激テストによる難治性てんかんでのてんかん焦点の推察の検討

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 山添知宏 (脳神経外科・医師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：2024年5月31日～2027年9月30日

目的：難治てんかんに対して開頭焦点術を考慮し、頭蓋内電極留置術を施行した方で、自然な発作時の脳波変化の記録だけでなく、頭蓋内電極留置術で留置された電極を介しての発作誘発電気刺激がてんかん焦点診断にどれほど寄与したかを調査します。

方法：診療録を用いた観察研究です。

■ 対象となる患者さん

2024年4月～2027年3月に当院で難治てんかんに対して開頭焦点術を考慮して頭蓋内電極留置術を施行し、てんかん焦点調査目的に発作誘発刺激テストを施行した方。

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：臨床所見 (年齢、性別、てんかん診断、発作型、内服中の抗てんかん薬等)、画像所見 (EEG、MRI、FDG-PET、SPECT等)、頭蓋内電極留置術後の発作時脳波の所見や発作間欠期の所見、発作誘発電気刺激で誘発された発作症状とその時の脳波所見、開頭てんかん焦点切除術後の発作の状況等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

山添知宏、脳神経外科

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971